

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は11月7日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内消費は前年並み水準も販売個数は減少～引き続き一層の需要拡大を～」

- ・10/17週の牛乳類の家庭内消費は、5週ぶりに前年並み水準となったが、全品目通じて前週(10.10週)よりも販売個数は減少した。また、牛乳はコロナ前の19年度実績を下回る水準となっている。
- ・ヨーグルト類についても、前年並み～上回る水準となったものの、全品目通じて販売個数は微減となった。
- ・例年、気温の低下に伴い販売個数は減少トレンドとなるなか、10/17週の全国の天候は週末にかけて比較的好天に恵まれたことから、販売個数の減少幅が抑えられ、前年並み水準になったと推察される。
- ・食料品、光熱費等の相次ぐ物価高が家計に大きな打撃を与えているなか、11月からは牛乳、はっ酵乳等を中心に価格改定となるため、家庭内消費への影響が危惧される。一方で、全国旅行支援が開始されたことによる観光地での人出の増加や円安進行、水際対策の緩和によりインバウンドが増加することで業務用需要の回復が期待される。
- ・「牛乳でスマイルプロジェクト」を通じて、業界内外の各団体・企業において消費拡大の取り組みが進められているところであるが、家庭内消費は依然として厳しい状況が想定されることから、引き続き一層の需要拡大に取り組む必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(10/17週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同100.2%、成分調整牛乳：同99.4%、加工乳：同98.4%、乳飲料：同99.8%。

牛乳類トータルでは同100.0%

※参考：2020年度比は、牛乳：96.0%、成分調整牛乳：93.0%、加工乳：98.8%、乳飲料：91.9%(牛乳類トータル：95.2%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は97.0%。

・販売単価は、牛乳：190.2円、成分調整牛乳：174.0円、加工乳：189.8円、乳飲料：149.3円。

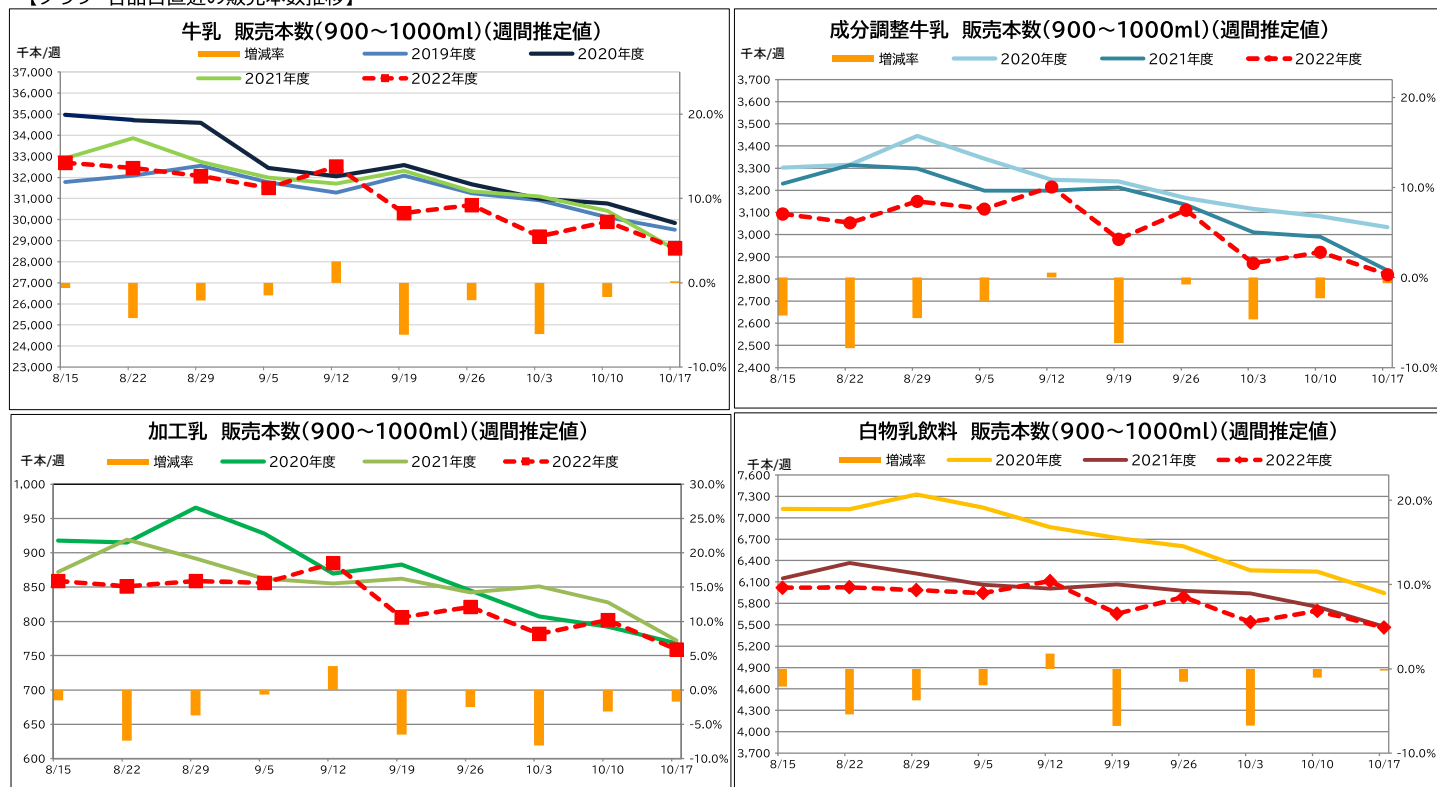
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-
トータル	販売個数	42,058	41,428	42,725	39,757	40,513	38,395	39,317	37,690
	販売個数前年比	97.5	98.4	102.3	93.7	98.1	93.9	98.3	100.0
	販売単価	183.5	183.3	183.8	183.3	182.9	183.4	182.9	183.1
牛乳	販売個数	32,062	31,512	32,511	30,316	30,693	29,203	29,901	28,649
	販売個数前年比	97.9	98.5	102.5	93.8	97.9	93.9	98.3	100.2
	販売単価	190.4	190.3	190.7	190.3	190.1	190.6	190.0	190.2
成分調整牛乳	販売個数	3,150	3,116	3,216	2,979	3,111	2,871	2,921	2,820
	販売個数前年比	95.5	97.5	100.6	92.7	99.2	95.3	97.7	99.4
	販売単価	174.2	174.5	174.4	174.3	173.6	174.1	173.3	174.0
加工乳	販売個数	859	856	885	806	821	782	802	759
	販売個数前年比	96.3	99.2	103.5	93.4	97.5	91.9	96.9	98.4
	販売単価	190.1	189.6	191.4	190.4	190.1	189.5	189.8	189.8
乳飲料	販売個数	5,987	5,944	6,113	5,656	5,888	5,539	5,694	5,462
	販売個数前年比	96.2	98.0	101.8	93.2	98.5	93.2	99.0	99.8
	販売単価	150.0	150.1	150.6	150.0	149.5	149.7	149.5	149.3

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(10/17週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)全品目通じて前年比では前年並み~上回る水準となったものの、販売個数は前週よりも微減した。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

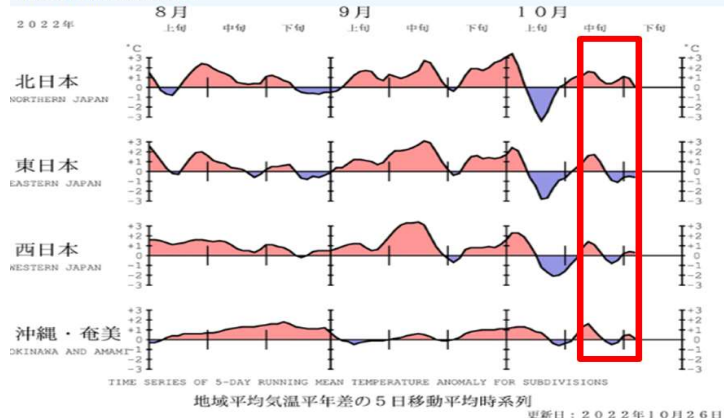
品目	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-
ドリンクタイプ	➡	⬇	➡	⬇	➡	⬇	➡	➡
個食タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	➡	⬇	⬇	⬇	⬇	➡

- ⬇ : 前年比90%未満
- ⬇ : 前年比105%以上110%未満
- ⬆ : 前年比90%以上100%未満
- ⬆ : 前年比110%以上120%未満
- ➡ : 前年比100%以上105%未満
- ⬆ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※10/17週の気温経過 出典:気象庁

前3か月間の気温経過



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」